



ニュースレター



Osaka Environmental Counselors Association. Nonprofit Organization

特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会 第43号

Apr.

ご挨拶

令和4年度のスタートに当たり

理事長 高井 茂



新型コロナ、変異コロナウイルス、ワクチン接種、三回目の接種、地球全体を襲っている最中に何ということか、ロシア軍のウクライナ侵入、まるで第二次世界大戦のナチスドイツのポーランド侵攻とよく似た事が再現されてしまいました。対抗して経済制裁や、武器の提供などが始まり、一般国民の思惑と異なり争いは大きくなってきていて、行く先、全く不透明な時代になっています。平和を望む我々は一日も早き解決を願うのみです。このような時代でもSDGs実現



たけのこの里→
長岡京の散歩道

のための活動の停止は許されないと思っています。OECA いたしましては、会員の力を合わせて会の目標を達成することが肝要です。会員各位の健全な思考と健全な体力でこの不透明な時期を乗り切ろうではありませんか。会員各位の一層のお力添えをお願い申し上げます。

お知らせ

2022年度 第24回定時総会のご案内

開催日：2022年5月28日(土)
開催場所：大阪環境カウンセラー協会事務所
開催方法：ZOOM（総会はWEB決裁）
第1部 13:30～14:20

総会内容

I：2021年度活動結果報告

II：2021年度決算報告

III：事業監査報告

IV：2022年度計画

V：2022年度事業予算

当日の「総会・セミナー出欠票」および「議決行使書」は、お手数ですが、5月26日(木)までにご提出下さい。

なお、議案書の提示は、5月23日メールにて発信する予定です。議決行使書も提示いたしますので、当日ご参加いただける方も



本 部 事 務 局

事務局長 水藻英子

受賞

■令和3年度（2021年）「大阪市環境表彰」大阪市長表彰を受賞



富平さん 市長表彰



内藤さん 市長表彰

残念ながら本年度もリアル表彰式はありませんでした

受賞者の功績概要【個人の部】

富平 純さん（なにわエコ会議 生物多様性部会長）

専門分野である河川水生生物を対象とした観察・講座・標本展示だけでなく、漁業体験会や身近な動植物の情報発信など、総合的に自然と生物を観察する活動を実施されています。

内藤 正巳さん（環境計量士、環境省環境カウンセラー）

様々な企業で地球温暖化の緩和と適応を軸とした環境教育講座や研修において、個別事業者に沿った内容にするなど工夫をされています。

環境省の「エコアクション21」においては、普及プログラムの主担当を担い、約50社の認証取得を達成し、「エコアクション21」の普及に大きく貢献されています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000555595.html>

■.なにわエコ会議の活動

高井理事長が、企画委員長を担い、日々の活動の中では、4つの部門のうち「環境に配慮した企業部会」と「生物多様性部会」「環境教育啓発部会」の3つの部門で部会長を担い、中心になって取り組んでいます。

「環境に配慮した企業部会」

■.気候変動アクション環境大臣表彰

環境省では、気候変動対策推進の一環として、顕著な功績のあった個人・団体をたたえるため、「気候変動アクション環境大臣表彰」を行っています。

また、優れた CO2 排出削減技術の創出等を促進するため、受賞者に技術開発実証事業の優先採択権を付与する特別枠を今年度から新たに設けられました。

宇田さんが部会長を務められている取組「中小事業所向け CO₂削減コンペの実施」が「普及・促進部門 緩和分野」において、気候変動アクション環境大臣表彰を受賞いたしました。多くの OECA メンバーが、お手伝いしている本取り組みが、評価されることはとても喜ばしいことです。

[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_action_award/files/winners_r03_](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_action_award/files/winners_r03_22.pdf)

22.pdf・エコアクション 21 スクール

「生物多様性部会」

- ・図書館での水生生物の標本展示と講演

川には魚のほかにも、昆虫の幼虫などがいっぱいいます。大阪市内の図書館に水生生物（主に昆虫）コーナーを設けて約 1 か月間の展示を行いました。

市内全図書館での展示を目指しています。

また、講演では、写真や標本を見ながら水生生物のことを解説し、川と虫と人や環境との関係を伝えています。



「環境教育・啓発部会」

大阪市内の小学校 2 校に「食品ロス」の出前授業を実施しました。「大阪環境ネット」個人会員の皆様に大変お世話になり、滞りなく終了することができました。（環境教育部門活動参照）なにわエコ会議としては、「食べ残し NO ゲーム」を 4 校実施予定のところ、1 校が中止となり 3 校実施できました。「夏休み宿題応援、おおさか環境科」は、7 月 24・25 日の 2 日間にわたり、大阪科学技術センターにおいて、大阪市立大学の学生ボランティアグループ CHOVORA！！とともに実施できました。集客を危惧しましたが、おかげさまでたくさんの参加者を得て、好評のうちに終わることができました。2022 年度も 7 月末頃に実施予定です。「食べ残し NO ゲーム」と「夏休み宿題応援、おおさか環境科」は、なにわエコ会議の環境教育・啓発部会の活動の大きな柱になっています。

■おおさか環境ネットワーク会議の活動

大阪市環境学習情報ネットで活動する環境活動団体がプログラムを OECA が提供してい

ます。主に環境事業協会から依頼される出前授業として、パートナーシップを構築しています。12月には、田中靖之さんが、OECA が小学校で展開する授業は、学校で使われている教科書に基づいて、学習指導要領に即した学習計画を依頼元の教育委員会や学校に提示し、了解されたものについて、実施していることを説明していただきました。

■ ESD拠点の活動

- ・環境イベント等で使用するアイテムを独自で開発し、環境問題の基礎知識の獲得から環境保全行動へ移行できるよう動機付けをしています。上口さんと曾谷さんが奈良教育大学主催の「ESD ティーチャープログラム」に参加し、研鑽に努めています
- ・ESD 全国フォーラム 2021 においてポスターセッションに参加いたしました。

<https://www.env.go.jp/press/110182.html> (現在、非公開)

- ・コロナ禍でイベントなどが中止になる中、谷さんが、高井理事長とともに FM おとくに「さわやかおとくに」のラジオ出演をしました。

大阪環境カウンセラー協会の、長岡京市での活動を報告、続けて、E A 2 1 の推進など事業者部門の取り組み、障がい者・高齢者環境出前教室をはじめと



する市民部門の取り組みを紹介しました。温暖化や海洋のプラスチック汚染など、地球環境の悪化が深刻さを増す中、大阪環境カウンセラー協会の活動が今こそ重要であることを広くアピールしました

■ BCP 活動-

無事、更新審査を通過し、2024年まで継続できる運びとなりました。OECA では、ボランティア活動を含めての登録となっており、今年度より、OECA 負担金に加えて。環境教育部門が行った授業のうち、材料費を頂戴した分を含んだ形で日本赤十字社に寄付するシステムに変更しています。また、面接官から非常事態訓練として、消防訓練だけでなく、避難訓練の充実をアドバイスいただいています。

■ 「電気の旅路を知ろう！！ -地層処分の伝道師を育てよう-」 =最終年=

NUMO の“選択型学習支援事業”を活用して「原子力発電所から排出される高レベル放射

■「TEAM EXPO 2025」共創パートナー

万博に向けた活動が盛んになってきています。OECA では、事業者のサポートを中心にエントリーしていますので、皆さん、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

環境課題の解決に向け、中小企業者の環境経営を共創サポート

地球環境や地域の環境課題を共に考え、省エネ、創エネ対策を含む中小事業者の環境経営を共創サポートします。

①環境省の「環境経営システムガイドライン」に基づくエコアクション 21 導入支援を通じて環境経営活動をサポートします。

②気候変動の適応策として、BCP 策定、レジリエンス認証取得等の支援を通じて、予測不能な場面においても仮定に基づき準備を促すことで、事業者の事業継続維持する活動をサポートします。

③全事業者を対象として、厚生労働省の「ラベル・SDS 活用促進事業」に基づく化学物質リスクアセスメントの支援を通じて、従業員の健康・安全・衛生管理に伴う活動をサポートします。

■ ECU 活動報告

エコアクション 21 海外普及・ECU 担当 竹本 秀人

1. 京都府唯一の村で環境カウンセラーズ京都の会員が保有する「野殿の森」(1万千坪)の森林保全に関し、ECU近畿ブロックの仲間も支援し、林道、バイオトイレ、舞台、電源、百葉箱等々の整備が終わり7月24日OPENの日を迎えました。林道3m巾x1.4kmで肩を組んで歩けます。ゆっくりのんびりと檜林地で森林浴を楽しめます。獣道が2本残されています。彼らの場所も案内してくださるとのことです。野殿の森では、捕獲ネットや罫は、今後共設置予定はなく、共存の知恵出しをしていきましょう。ドッグランも射程内だそうです。



2. 10月24日 NUMO 延高濃度放射性廃棄物処理研究施設を、OECAの仲間と ECU として初めて藤本代表理事等6人が参加しました。最新の処理方法の研究の現場を見学しました。



(OECA メンバーとともに)

3. ハイブリッド方式の 日米学生会議支援

- コロナ禍により渡米できず、青森サイトとハワイサイトを繋ぎ、会議が行われ 支援を行いました。今回、京都でのバーチャル開会式の後、日本側代表は 8月5日 青森に全員集合し ハワイに集合したアメリカ側代表と両国を結び 会議史上初のハイブリッド方式での会議となりました。
- 青森サイトでは会議期間中に日本側代表全員が六ヶ所村原子力廃棄物処理場を見学出来ました。実行委員の学生達にOECAの六ヶ所村含む長年の現地研鑽の事例を説明し、今回青森県の支援もあり、見学できたものです。皆様のお陰です。

- 8月3日 裏千家本部 京都今日庵（こんにちあん）をKEYステーションとして、日本側学生代表の各自宅と ハワイに集合していたアメリカ側学生とで ハワイの裏千家茶室を結び 茶道師匠がWEBによる 茶道文化の説明 & 茶会を挙行、8月4日の 能楽、建仁寺の禅



のレクチャーもあり、学生諸君もコロナ禍に於いても学業、会議、就活、留学・進学等々にチャレンジしている多忙な日々を暫し「心の環境保全」の良き機会となったようです。※上記はハワイ裏千家茶室での写真です。

■大阪環境ネット活動報告

事務局 水藻 英子

個人会員の皆様には、なにわエコ会議が主催する「小学校出前授業-食品ロスをなくそう-」や「高齢者・障がい者環境出前講座」において、講師を務めていただくことが多くなりました。ヘルパーや教師の有資格メンバーも増えました。

特に、若い感性に助けられて YouTube デビューできたのは大きな成果でした。

今後、SDGsに絡めたシリーズ化を検討していますので協力のほどよろしくお願ひします。すでにベントナイト実験で使われるチラシの作成が進行中です。

A3用紙に8ページ分の絵を配置して、1か所にはさみを入れますが、折り方で、絵本に変身します。ハトメパンチとボールチェーンを使って、キーホルダーにして楽しむことができます。



EA21地域事務局大阪

事務局責任者 鈴木 弘幸

2021年度は、中核地域事務局2年目を迎え、チーム大阪としての真の一体化推進を目指して関係の皆様とともに取組んだ1年でした。その結果、審査件数（判定件数）は、登録44（28）、更新361（353）、中間302（278）となり、合計707件（659）を数えました（括弧内は前年値）。この内、登録審査はカーボンニュートラルの流れを受け、IP・GPの参加事業者の増加、取り分けNDF-GPの増加が寄与しています。なお、期末の認証登録数は748件となり、前年比10件減となりましたが、これはコロナ禍における業績悪化による返上数の増加が原因です。また、判定審議数は、「緊急事態宣言」発出の影響により月々で30～80件に大きく振れましたが、WEB審議や在宅勤務を織り込み対応できました。図-1に「年度別審査件数の推移」、図-2に「新規件数と返上数の推移」、図-3に「IP・GP参加事業者数の推移」を示します。

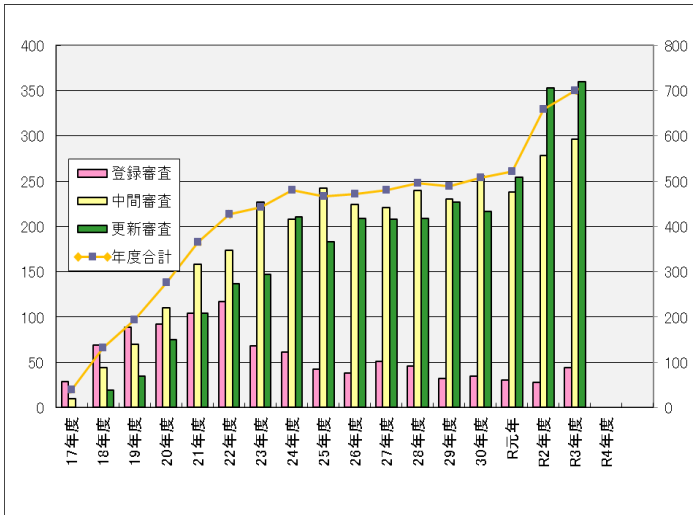


図-1 「登録審査等年度別審査件数の推移」

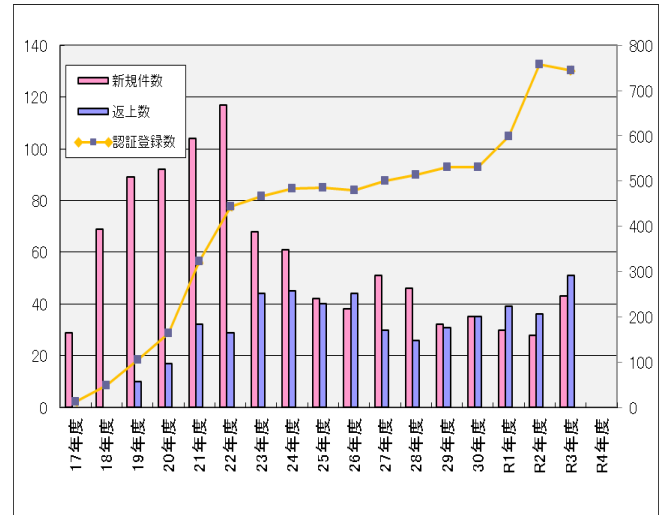


図-2 「新規件数・取上げ件数の推移」

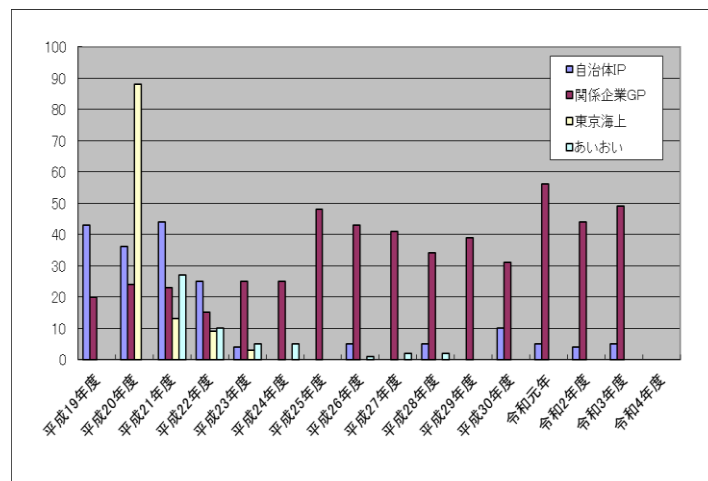


図-3 「IP・GP 参加事業者数の推移」

その他の取組では、7月に2021年度普及戦略会議、11月に審査員力量向上研修会（42名参加）、2月に認証・登録事業者向けアフターフォローセミナー（49社参加）をWEBにより実施しました。また、自治体IP及び事業者GPの説明会や無料個別相談会は、リモートやテレワークの活用により多くの取組が可能となり、エコアクション21に係る問合せや参加事業者が増加しました。なお、懸案の審査員増員対策として、審査員受験ガイダンスを実施し、新たに大阪を本拠とする7名の審査員補が誕生しました。

自治体協働部門

部門長 塚本 勝

大阪市環境経営推進協議会 令和3年度活動報告

事務局業務も14年目に入り、約300社の大阪市内の会員を対象に環境経営をテーマにしたセミナーや視察研修会などを企画・運営しておりますが、令和2年度に続いて3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で思うような活動ができませんでした。それでもオンライン手法を取り入れた会議やセミナー・視察などを開催いたしました。

理事会・総会

3密を伴う集会などの開催の自粛を求められており、理事会及び総会は、会場設定による会議を避け、書面決議による事前決議とZOOMによる会議方式を合わせて、前年度の活動と会計決算、役員改選、今年度の事業活動案と予算案を承認していただきました。



総会・西村会長挨拶

6月開催の総会時では、年度後半のコロナ収束を期待しておりましたが、収まることもなく、結局、オンライン方式によるセミナーと視察研修になりました。

セミナー

中堅・中小企業が主体の協議会会員向けに環境経営の基本知識の取得を目指して、「カーボンニュートラル、再生可能エネルギーの導入、脱プラスチック、太陽光」などの講義を7回のシリーズセミナーで開催いたしました。講師陣に大阪府・市や環境省にもお願いし、午前中の1時間ほどで終えるセミナーは好評で、毎回50数名の参加で成功裏に終わりました。シリーズを通して出席いただいた参加者には、環境講座の教育訓練修了の証書をお渡したことも、今後のセミナーの在り方に結び付ける一つヒントとなりました。

視察研修

例年、バスをチャーターするなどしていた視察研修も、コロナの影響で開催ができなくなった一方で、いままで工場見学を受け入れていた企業が、オンラインによる自社の工場見学を提供するようになりました。近畿圏内での見学先が、遠隔地にも対象とすることが出来る利点も生じました。



徳島県上勝町では、「葉っぱビジネスとゼロ・ウェイスト」の過疎化対策の成功例を、福岡県からはシャボン玉石蝸(株)の石蝸づくりでの環境対策を、オンラインで見学することができました。

上勝町・葉っぱビジネス

化学物質管理支援室



部門長 光吉 初彦

テクノヒル(株)の受託事業として8年目となる化学物質リスクアセスメント(RA)無料訪問支援は、2021年度目標85件に対して実績83件(計画比98%)となりました。昨年度実績(72件)は上回りましたが、残念ながら目標を下回る結果となりました。

2022年度は、従来のアプローチを継続することに加え、新たなチャンネルでのプロモーションを検討、導入を図り、RAの普及啓発活動を促進していきたいと考えます。また、労働安全衛生法に関する化学物質規制が、法準拠型から自律管理型へと大きく舵を切ることと進んでおり、立ち位置の再確認や、今後の対応や準備についても課題と認識しており、メンバーと議論していきたいと考えています。

次に、SDS作成業務については、事業可能性検討の年と位置付けておりましたが、依頼案件としては、1件に留まりました。本件は、緒に就いたところであり、次年度も継続して事業可能性検討の年とし、実績、課題等の把握に努め、次に繋げていきたいと考えます。

最後に、化学物質管理に関する啓発活動として、おおさかATCグリーンエコプラザ様のご協力により「事業経営に必要な化学物質の管理 ～持続可能な事業経営に資する～」と題して8月6日にセミナーを実施いたしました(参加者9名)。その中でRAについても訴求いたしました。2022年度セミナーも5月に計画しています。

環境教育部門

部門長 谷 美也子

本年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大は収まらず、例年通りの活動はできませんでした。その中でも、「高齢者・障がい者環境出前授業」は、施設や小学校からの依頼があり、下段のとおり実施できました。

おおさか環境ネットワーク会議の活動として、図書館で1回、小学校で1回「食べ残しNOゲーム」の実施ができました。しかしながら他に予定していた小学校2校は、オミクロン株の感染拡大により中止となりました。そのうち1校は、「校庭の樹木の観察」という新しいプログラムを計画していましたが実施できず残念です。

また、なにわエコ会議の生物多様性部会の部会長もOECAの富平さんが務めており、図書館での「水生生物の展示と講座」、漁船を借りての「漁業体験」など、活発に

活動を進めています。

今後も引き続きOECAの活動として、大阪市がアシストする「なにわエコ会議」をはじめ「大阪環境ネットワーク会議」などを通じて環境教育・環境学習を推進していく所存です。

<高齢者施設> ~プラスチックごみとたまねぎ染め~

8月2日	大阪市内高齢者施設	参加主	26名
11月17日	大阪府内高齢者施設	参加者	24名
1月21日	大阪市西成区老人福祉センター	参加者	26名

●キャンセルとなった事業

- ・大阪府内高齢者で某町會館は、7回の順延を繰り返し中止

<障がい者施設>

7月4日	大阪府内障がい者環境授業検討会	参加者	8名
8月4日	大阪府内障がい者環境授業	参加者	33名 「さまざまな発電」
8月4日	大阪府内障がい者環境授業	参加者	28名 「さまざまな発電」
8月7日	大阪府内障がい者環境授業	参加者	21名 「さまざまな発電」
8月7日	大阪府内障がい者環境授業	参加者	16名 「さまざまな発電」
8月11日	大阪市内障がい者施設	参加者	10名 「さまざまな発電」
8月17日	大阪府内障がい者施設	参加者	24名 「さまざまな発電」
			http://blog.nonohana.lolipop.jp/?month=202109)
8月23日	大阪市内障がい者施設	参加者	26名 「さまざまな発電」
9月30日	和歌山市内障がい者施設	参加者	13名 「さまざまな発電」
11月30日	大阪府内障がい者施設	参加者	25名 「さまざまな発電」
12月4日	大阪府内障がい者施設	参加者	8名 「さまざまな発電」
			『ねえ、ねえ、教えてSDGs,たまねぎ染めのエコバックづくり』
1月22日	大阪市内障がい児放課後デイサービス	18名	「酸性雨実験」

<小学校>

7月4日	大阪市内小学校	5年	70名	「食べ残しNOゲーム」
10月8日	大阪市内小学校	6年	58名	「食べ残しNOゲーム」
11月2日	大阪市内小学校	6年	32名	「食べ残しNOゲーム」
11月26日	大阪市内小学校	6年	55名	「食べ残しNOゲーム」
12月13・14日	大阪府内小学校	4年	102名	「さまざまな発電」
3月25日	大阪府内学童保育室	1~6年	100名	「食べ残しNOゲーム」

●キャンセルとなった事業

- ・大阪府内小学校2校は予定していた環境授業が、校内での感染のため中止

<公共施設他>

6月30日・7月21日 高槻市芥川公民館 参加者合計90名

講演「SDGsを人権の視点から」

8月14日 未就学児のための環境出前授業検討会 参加者7名

参加者がInstagramに投稿

8月17～20日 下水道展 インテックス大阪

9月26日 大阪市内図書館 参加者17名（区長と市職員3名含む）

※「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」主催の好事例投票の対象となりました。

10月22日 大阪市内区役所 環境学習イベント 参加者21名

10月23日 大阪市内区民センター 環境学習イベント 参加者11名

10月30日 大阪市内公園 ECO縁日

・「でんきのごみのおはなし」映像展示エリアにて放映。

・「でんきのごみのおはなし」作者によるYouTube投稿

11月13日 大阪市内区民センター 環境ふれあい広場出展

11月23日 浪速図書館 「食べ残しNOゲーム」8名

12月11日 ESD全国フォーラム2021・ポスターセッション参加

12月24日 大阪市内図書館 環境学習イベント

12月27日 北海道の幌延深地層研究センター/ゆめ地層館見学報告

「つちのなかにいってみたよ」作者によるYouTube投稿（視聴回数72回 2/18現在）

3月17日 大阪府内市役所 職員研修（カーボンニュートラル）

●キャンセルとなった事業

・大阪市内イベント 「プラスチックごみとたまねぎ染め」3度流れて中止

エコアクション21普及戦略部門

部門長 宇田 吉明

奈良、滋賀からメンバーを迎え、賑わいのある一年でした。地域事務局大阪と連携し、

①事業者のEA21への取組を促進すること、②事業者への適切な助言ができるように審査員の力量向上を図ること、を主な目的として活動しました。

◆エコアクション21普及戦略MTGの開催

2021年度はすべてオンラインでの開催でした。毎月第3土曜日10時～12時までの時間で開催しました。自治体イニシャティブ・プログラム（IP）及び関係企業グリーン化プログラム（GP）の推進について、進捗管理をGoogleスプレッドシートを用いて情報を共有し、担当を決めて、総力で取り組みました。IPでは東大阪市で実施することができました。高槻市でも商工会議所の後援を得て動画による説明会を開始しましたが、IPの実施

は4月以降に持ち越しました。

GPについては、なにわエコ会議、大阪府中小企業家同友会、大阪信用金庫、日本デリカフーズ協同組合、ATC グリーンエコプラザで開催することができました。日本デリカフーズ協同組合については、北海道から九州までの各地の審査員に協力をいただき支援を行いました。

普及活動の他、法令研究、適切で有効な助言ができるように活発な情報交換を行いました。

9時からのサロンも三々五々集まり、雑談しながら交流を深めていますので、ぜひ参加してください。

4月からは、新たに審査員になる方を数名迎え、総力でエコアクション21の普及に取り組んでいきます。

◆自治体との協働

大阪市のなにわエコ会議「環境に配慮した企業部会」に参画して、エコアクション21スクールと「CO₂削減・プラごみ削減コンペ」の企画・実施に協力しました。このコンペについては25事業所が参加され、審査会によって11社が表彰となり、大賞、優秀賞の2社には大阪市長となにわエコ会議会長の連名で、9社にはなにわエコ会議会長名で表彰となり、3月22日に表彰式・セミナーを開催しました。今回は感染予防のため受賞者のみの会場参加とし、一般についてはオンラインで参加していただきました。2022年度も実施しますので是非事業者の声をかけて下さい。



省エネ支援部門

部門長 中田 進久

昨年度の省エネ支援部門の報告です。

1) 環境省令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金「工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業」(以下、SHIFT事業)において、OECAは支援機関に認定されました。昨年度までのポテンシャル診断推進事業に比べ、削減のための計画策定に重きを置き、工場・事業場の設備更新、電化・燃料転換、運用改善による脱炭素化に向けた取組支援を一層強化したものです。OECAは1件の事業者支援事業の補助金交

付の決定を受けましたが、事業者との打ち合わせ後、診断に取り掛かる準備をしていた8月末に OECA メンバーの体調不良が発生し、残念ながら中止を申し出て同意を得ました。ではありますが、交付された事業者の現場見学やヒアリングを通じて、電化・燃料転換の必要性を学びました。



- 2) 11月の3日間、和歌山市環境監査に外部評価委員として参加しました。市役所内の部課に出向いて省エネ省資源の取組のヒアリングをもとに提案を行ないました。
- 3) 今2月、大阪市役所庁舎環境監査に外部評価委員として参加しました。区役所に出向いて省エネ省資源の取組の現場観察とヒアリングによって、取組を前進させるいくつかの事案を確認しました。
- 4) 昨2月（昨年度議案書報告漏れ）、（一財）海外産業人材育成協会（AOTS）において、タイランド事業者向け省エネ・オンライン講座を実施しました。同じく昨3月（昨年度議案書報告漏れ）、2016年度に実施したパキスタンとタイランド向け省エネ支援講座に参加した事業者を事後的に経年評価するオンライン事業に従事し、省エネ講座が一定の成果を得ていることを確認しました。同じく今2、3月、インドネシアとタイランド向けの省エネ講座を準備しています。

マネジメントシステム支援部門

部門長 内藤 正巳

2013年から環境ISO支援部門として内部監査員研修を中心として運営してきましたが、昨年からは部門名を「マネジメントシステム支援部門」として、エコアクション21を含め、また、環境に限らず幅広く事業者の方々の支援を担当する部門として活動を推進しております。

2020年初頭から、コロナ禍による集合研修が難しい状況となっておりますが、従来から実施してきました環境マネジメントシステムISO14001に必須の内部監査員養成のための「内部監査員養成講座」（2日間コース）を1回開催（1社、受講生4名）、また要望のあった事業者へ出向いての出前研修を1回（受講生9名）実施することができました。

一方、その他事業者の支援業務としては、昨年度大手の事業者から「環境関連法令遵守

等に係る業務支援」を受注することができ、2021年度も継続して活動を推進しました。この支援業務は次年度も契約更新の予定となっています。

また、従来から構想は持っていながらあまり実施できていなかった法規制動向の解説セミナーについては、「おおさかATCグリーンエコプラザ 環境経営セミナーシリーズ」の一環として採用していただき、10月に「廃棄物処理法」についての解説セミナーを実施、コロナ禍の中ではありましたが、会場に10数名の参加を得、終了後質問のため残られた方も数名あり、ニーズを感じました。このセミナーは、次年度以降も年2回の定期開催を目指しています。



建設・廃棄物部門

部門長 西迫 一二三

環境経営支援では、コロナ禍の中、廃棄物関連団体の（公社）大阪府産業資源循環協会、（一社）大阪市一般廃棄物適正処理協会のグリーン化プログラムの説明会を昨年引き続き計画しPRをしました。大阪府産業資源循環協会の説明会（8/2）では参加事業者は7社有りましたがスクール等の申込み事業者は有りませんでした。大阪市一般廃棄物適正処理協会の方は説明会（7/24）の参加事業者が有りませんでした。また、建設業の説明会開催も出来ず昨年に続き大変な低調に終わりました。来期は、厳しい環境の中では有りますが、コロナの状況も収束に向かいつつ有り、また、SDGs、2050年カーボンニュートラルの認知度アップにより業者の認識も変化しつつあります。新規事業者開拓へ向けて、新規会員の皆様、認証取得業者様、行政書士会などのご協力を得ながら関連団体等の掘り起こしに注力していきたいと思っております。そしてグリーン化プログラム実施によるEA21推進を図っていききたいと考えています。



また、大阪府の建設業者のEA21認証取得拡大には、大阪府の建設入札加点の拡充等が必要ですが、進展する活動を実施できませんでした。来期は、地域事務局大阪の協力のもと、大阪府等へ入札加点拡充についても継続して働きかけを検討していきたいと思っております。同時に、業界の関連する情報を発信していきたいと考えています。

BCP部門

部門長 花村 美保

2021年度のBCP部門の活動は、2020年度と同様、わずかながらの事業収入もあり、企業の皆様に事業継続計画の必要性、サプライチェーンを止めないためのPDCAサイクル「レジリエンス認証」をご紹介し、ご支援させていただくことができました。活動報告は、以下の通りです。

1. 大阪府中小企業家同友会及びATCエコプラザにおけるBCP(事業継続計画)策定・スクールの開催

大阪府中小企業家同友会では、20年度に引き続き、BCP策定スクールを7回コースで実施し、参加企業は2社が参加しました。

ATCエコプラザで、4回コースで実施し、2社が参加しました。

同友会ではZOOMを活用したオンライン形式、ATCでは、ZOOMを使用したオンラインと、現場参加を希望する企業への対応として現場開催という、「ハイブリッド」方式で開催しました。

参加動機としては、「介護報酬規程の改訂による義務化への対応」ということで、介護関連事業者、「クライアントからの相談に対する基本的な知識の理解と自社対応」ということで、行政書士や保険の代理店などの業種参加がありました。

2. 2021年度第1回レジリエンス認証説明会の講演と、パネルディスカッションのコーディネーターとしての参加

2021年7月12日(月)に、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催、当協会も共催として、「2021年度第1回レジリエンス認証説明会」を実施しました。ZOOMによるオンラインで約100名が参加し、内閣官房国土強靱化推進室よりレジリエンス認証の説明、続いて「事業継続における国内動向」ということで講演しました。近年、各省庁にて、認証制度も構築されており、また、介護事業の報酬規程には、組織継続の作成が義務化の方向になるなど、規制枠が強まっています。そんな中で、OECAとしては、引き続き、事業者ニーズに対応したスクールの展開してまいります。



お知らせ

2022年度通常総会日程

開催日：2022年5月28日(土) 13:30~17:00

開催場所：大阪環境カウンセラー協会事務所

開催方法：ZOOM（総会はWEB決裁）

第1部 13:30~14:30

総会内容

- | | |
|----------------|---------------|
| I：2021年度活動結果報告 | II：2021年度決算報告 |
| III：会計監査報告 | IV：2022年度計画 |
| V：2022年度事業予算 | |

当日の「出欠票」および「議決行使書」は、お手数ですが5月26日（木）までにご提出下さい。

なお、議案書の提示は、5月23日メールにて発信する予定です
議決行使書も提示いたしますので、当日ご参加いただける方も
一旦ご提出ください。（当日のご意見を最優先させていただきます）

第2部 14:50~16:40

環境問題対策OECAセミナー2022（どなたでもご参加いただけます）

- 「見るだけじゃない、あなたが主人公になる万博がはじまります。」のキャッチフレーズの元、OECAは「TEAM EXPO 2025」共創パートナーに登録いたしました。多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラムについてのお話です。

1. 講演①テーマ「TEAM EXPO 2025」

講師：公社）2025年日本国際博覧会協会 深澤 一宏氏

2. 講演②テーマ「OECAが展開する共創パートナーの取組みについて」

https://team.expo2025.or.jp/cms/co_creation_user/partners/125/management/dashboard

講師 宇田 吉明

- トリオ漫才「両手に華 真ん中はどう?」

発行者：特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会

〒550-0005

大阪市西区西本町 1-7-7 CE西本町ビル 8F

e-mail: info@osaka-eca.org

HP: <http://www.osaka-eca.org/>

発行人：高井 茂

編集：曾谷紀子

水藻英子

発行：令和4年4月



【第43号】